

法輪大法

北米五大湖地区法会での説法

李 洪 志

北米五大湖地区法会での説法

李 洪 志

二〇〇〇年十二月九日

皆さんお疲れ様でした。(熱烈な拍手)

皆さんにお会いできて、とてもうれしく思います。一年前に皆さんは今のよう
な状態ではありませんでした。この厳しい試練を経て、皆さんはそれほど強く感
じていないかもしれませんが、私の目から見るとみなさんは既に元のあなたと全
然違っています。私たちは歴史上かつてない最も厳しく、しかも邪悪な試練を経
験しました。今まで私たちは何につけても、常に次のように考えています。私は
如何にすれば良く法を学べるのでしょうか、如何にすれば大法のために何かが出来
るのでしょうか、どのように己を高めるのでしょうか、どのようにすれば更によ
く行なえるのでしょうか。何があっても法の勉強をしていることを感じ取り、身
が大法の中に置かれている一員と感じ取ることが出来なかったのです。この一年
が経って、私は皆さんが完全に変わったと感じました。今までのような考えはな
くなりました。皆さんは大法のために何かをやっていても、どんなことをしてい
る時であっても、自分を大法の中に置くことが出来ました。今までのような私が
大法の為に何かをしたいとか、自分の次元を高めたいとかといったような考えは
もはやありません。どんな事をしていても自分が大法の為にやっているとか、大
法の為にどうすべきとか、大法の為にどのようにすればよりよく行なえるのかな
どとは全く考えていないのです。自分を大法の中に置き、大法の中の一粒子とし
て、何かをしているとき、それは私がすべき事だと思っていることをしています。
あなたにはこのようなはっきりとした意識がなく、あるいは言葉としてそれを明
白に表現する事ありませんが、実は皆さんの行動は既にこのようになっていま
す。これが私に見えたこの一年來の皆さんの最大の変化です。つまり、皆さんは
既に完全に法に溶け込んでいるのです。特に古い学習者はこの点においての変
化が非常に著しいのです。今まではあなたのことを学習者と言ってもいいのです
が、最近私はよく「学習者」を「弟子」と呼んでいます。確かに非常に大きな変
化がありました。一人の修煉者として、師父は常人のような激励の仕方で皆さん
を誉めたり、皆さんがよく行っていると称賛したりすることはありません。皆
さんは修煉者ですから、どのように行動すべきか分かっています。

今日起きているこれらのことは歴史上にとっくに按排されていたのです。全てのめぐり合わせも按排から逸脱していません。もちろんこの按排は昔の古い宇宙にいる高次元の生命たちが段取りをし、しかも宇宙の全ての次元にいる古い生命が系統的に行ったのです。彼らの目的もこの宇宙を救う事にあります。今日の大法、はなはだしい場合大法の弟子をも含めて、この全てがうまく運ばれ、完璧を期して、既に力の限りを尽くしました。彼らはそう思っています。この前サンフランシスコで説法したとき、誰にも宇宙大法を試す資格はないと言いました。この生命が宇宙においてどれほど高い境地と次元にいても、皆この宇宙の生命であり、全てが法によって切り開かれたのです。すなわち、彼の生命にいたるまでこの法によって造成されたのですから、どうしてこの法を試す事が出来るのでしょうか。しかし、今まで説法をしたときにも皆さんに言いましたが、昔宇宙の法は生命に理解されてはいけなかったのです。生命に知らせる事も許されませんでした。もちろん、常人の言い方で言うと、もし宇宙の衆生が宇宙に法があると分かっただけならば、長い年月の間に宇宙の衆生が法からずれたら、多くの問題を引き起こしかねません。この法を変えようとする生命も出てくるかもしれません。その生命にこの能力があれば、何でもやりかねません。ですから、宇宙大法の存在形式はいかなる次元の生命にも知らせてはいけないことでした。これで一つの問題が現れました。宇宙に法があることを知らないため、宇宙にこの宇宙大法が広げられていることを私が法を悟り証明していると勘違いしたのです。しかも、このことを成功させるために彼らも全力を尽くし、この全てを圓滿成就させようと私を手伝っています。しかしまた新しい問題が起きました。どういう問題なのでしょう。宇宙の全ての衆生は既にこの法から外れ、即ち彼らの境地と純度は原始の宇宙大法の基準で測ると、全て法からずれているのです。ですから、彼らのこのことへの按排と助けは私にとって最大の妨害となりました。彼らがいくら良く行なっても、自分の境地を超えることはありません。もし彼らが按排した全てにしたがって進めていけば、皆さん考えてください、やり終えても何もやっていないことに等しいではありませんか。やり終えてもまだ元の境地と基準のままであれば、だめではありませんか。従って、彼らが按排し、やった全てを認める訳にはいかず、成り立つこともできません。

ここで一つ重大な問題を引き起こしました。彼らが按排した一切は法を正すことの助けになるどころか、重大な妨害になったのです。今日の常人社会における邪悪の現れも高次元生命が按排したことの一部分です。これも彼らの心性が法の基準に到達していないということの最大の現れであり、異なる次元の参加者の生命と心性の基準を十分に現わしました。これはまた同時に法を正すことに一つの有

利な条件をもたらしました。どういう条件なのでしょう。もし、法を正している時、これらの生命は何もしなかったら、彼らの次元、心性の位置をなかなか決められないのです。つまり法を正すことに困難を来たしています。つまり、彼らが大法を試すために行なった全ては、彼らの心性の位置を十分に表しているパフォーマンスのようです。同時に、ちょうど学習者には長く生きているときに積んだ良くない要素、低い境地において造った業もあります。これらのものが全て除去されなければならないため、学習者は今回の厳しい試練に遭ったのです。彼らは悪人を動かして私の虚言を言い、学習者が大法に揺るぎ難い信念を持っているかどうかを試しています。このようなことです。

先ほど言いましたが、この全ては私が認めてはいけないもので、今度の邪悪も含めて一掃するのです。彼らは元々私たちを今までの宗教のように扱うつもりでした。変異した観念は彼らの歴史上の神に対する迫害を正当化したのです。イエスが十字架に磔にされたことは既に高次元の生命がこの世で人を済度する時の凡例になりました。これではいけません。このこと自体も墮落なのです。神がこの世に人を済度にしにきましたが、人間は神を十字架に磔にしたのです。人間にどれほどの罪があるのでしょうか。いまだにまだ償っています。しかし、それは人間だけではなく、更に高い次元の生命も墮落していたからなった結果です。この全てをみて、彼らは自分に問題があると認める勇気はありません。全てが変異しており、法からずれるまで変異したから徐々にこうなったのです。歴史上、どの次元の生命も彼らに触れる勇気はありませんでした。全ては様々に絡み合っている、非常に複雑になった要素に左右されています。この全て不純になったものを除去し、徹底的に一掃しなければなりません！

今度の邪悪は常人社会に現れていますが、邪悪な人が私及び大法の弟子に魔難を造ったように見えたが、実は異なる次元の変異した生命、つまり墮落した生命が参与しているのです。大多数の生命は参与していませんが、しかし彼らも不純になり、法が正されている中に配置しなおされています。もう一つ重大な問題ですが、今のことをする当初、私は如何なる生命も今日の人類を済度することができず、如何なる法も今日の生命を済度することができず、誰も今日の人間を変えることができないと彼らに言いました。どういう意味でしょうか。皆さんに教えますが、今日に到って、思想が変異した人自身は何も気付かないのです。人間の本質まで変化が起きたので、どんな修煉形式を取っても、その人が気付いたところを変える事ができても、本質の変異を変えることができないからです。ですから、この一年來、彼らはどんな方法を使っても、どんなに残酷であっても、

学習者の根本的な問題を解決できず、結局目的に達することができませんでした。学習者を基準、彼らの要求に到達させるため、邪悪の生命を利用し学習者を酷く殴り、邪悪極まりない手段を尽くしても、やはり目的を達成することができませんでした。そして、彼らは更に残酷になりました。最後になって、彼らは目的に達成できなかつたのに、既に全力を尽くしたと言いました。なんと邪悪なのでしょう。しかしこの邪悪が生じたにもかかわらず、膨大な宇宙にいる各次元の生命はこの邪悪を感じませんでした。これは全ての生命が皆変異の真っ只中にいるからです。

彼らが目的を達成できなかったからといって、私たちの学習者が既にだめだということではありません。法を正している中、全てを基準に到達させることができます。随分前からこのようにしないでくださいと彼らに言いました。如何なる生命、人間はもちろん、どんなに高い次元の生命であっても、宇宙の中にある生命である限り、私は法を正している時、本質から、生命の本源から、その生命を構成する全ての要素から彼を変えることができ、彼の不純を取り除き、変えることができます。このようにしてはいけませんと彼に言いましたし、法を説いてあげても信じません。真実を信じないからです。それで彼らはやってしまいましたから、これが彼らの罪です。私たちが全力を尽くしてあなたを助けた、これほど大きな法であり、未来の宇宙の安全に関わる問題ですので、あなたの弟子が基準に到達しなければならぬと今でも彼らはまだこう思っています。これが彼らの考えていることです。ですから、全てを壊しても基準に到達させなければいけません。したがって、大法の弟子が直面しているこの試練は歴史上かつてないことです。ご存知の通り、歴史上これほど優れた宣伝手段はなかったのです。天地を覆い被せるように宣伝しています。またこれほど進んだ輸送手段もなく、世界の範囲をここまで縮ませたのです。ですから、これは歴史上かつてなかった最も重大な迫害です。しかし、邪悪を前にして、学習者が行なった全ては法を正すことにとっても、私にとっても、皆最も素晴らしいことです。皆さんからこの邪悪に対する抵抗が真に現れたからです。しかも彼らは宇宙の最も墮落した生命を利用してこの一切を行なったのです。宇宙の生命は皆位置を配置し直されています。人にこの大法を試す資格はありません。神にもありません。あえて試した人がいたら、それはその人の罪です。このことも彼らには分かっています。

それでは彼らが按排したこの全てを認めないのであれば、正しく行動できなかった学習者も圓滿成就すべきなのでしょう。違います。もし、今のことが起きなかつたら、私は全ての生命をよい方法で解決し、全部圓滿成就させることがで

きます。しかし、邪悪な魔難が起きました。大多数の学習者はそれぞれの形で表に出て大法を実証し、真相を伝え、人々を済度しています。拘留されたり、殴られたり、死に至るまで迫害された学習者がいます。師父までもでたらめな嘘にひどく攻撃されました。学習者はこの生と死に関わる大事な時に勇気を持って表に出ており、全てを最大限に失い、表に出て、大法弟子がやるべき偉大な全てをやり遂げたのです。その一方、表に出ずに隠れていて、邪悪なものに仲間入りして今の事態を認識している人がまだ大法の弟子と言えるのでしょうか。観念が大法を迫害する邪悪勢力の立場を取り、悪事をした人でもまだ大法の弟子ですか。同様に圓滿成就する威徳を備えているのでしょうか。また、神は人間のようではありません。例えば、捕まえられた学習者がいますが、拷問に耐え切れず、懺悔書を書きましたが、心の中ではこれが人騙しのもので、釈放されたらまたやります、また法を正し、天安門広場にいくと思っています。これではだめです。この観念も人間が墮落してから形成したもので、神ならこのようなことをしません。神にはこのような考えがありません。神は見定めた道なら、最後まで歩みつづけるのです。

多くのことは人間の言葉でなかなかはっきりと説明しにくいのです。多くの学習者が「先生、このことをどうして早く終わらせないのですか」と私に聞いています。苦痛の中にいる時、「早く圓滿成就しましょう。早く終わらせましょう」と多くの方はこういう思いに到ったのです。実はこれは皆執着です。先ほど言いましたが、彼らがこのように学習者を試す目的を達成できたのは学習者自身に向上する必要があり、最後の業力を減する必要があるからです。生命は表面まで突破しつつ、徐々に神になるという過程に、自分が支払った代価、絶え間ない向上、威徳の樹立がなければいけません。私も逆にそれらの生命が自分の心性を表していることを利用し、学習者に威徳を樹立させているのです。実は何があっても、ある生命が常人社会でどんな苦痛を嘗めても、皆さんに教えますが、それは圓滿成就した時の果位と比べると、正比例になっていません。本当に正比例になっていません。皆さん考えてください、昔、修煉の人は一世の修煉、或いは何世かの修煉をしていましたが、今日ただの何年間かのうちに人を圓滿成就させています。耐える時間はただの一瞬です。しかも加速された時間です。将来振り返って見ると、もしあなたが圓滿成就できれば、それは何でもなく、あたかも夢のようです。

しかし、この過程に学習者が行なった全ては本当に素晴らしいのです。皆さんの最も偉大なところは法を正すことと足並をそろえることできたことです。先ほど言いましたが、常人社会に現れた邪悪は宇宙の最も墮落した生命が常人社会に

投じられ、やったのです。彼らを三界に入れ、利用しているのです。高次元の生命は自ら常人のやるような悪事をしないので、低次元の邪悪生命と邪悪の人を利用してやっています。ですから皆極めて邪悪なのです。

海外にいるから国内の学習者が受けたほどの苦痛がないから、私たちの圓滿成就が国内学習者ほどないのではないかと思う海外の学習者がいますが、そうではありません。国内にいても国外にいても皆一体を成しているのです。今度の出来事が起きた時、これをやる人も必要であり、あれをやる人も必要です。これが法に対する試練です。あなたがどこにいても、何をしても、あなたはやるべきことをやる時に自分を高めているのです。誰が何を担当するか、それなりの理由があります。圓滿成就する時の境地、圓滿成就へ向かう過程において何の差異もありません。必ずあなたの圓滿成就すべきところに行かせます。中国大陸では邪悪がそれほどひどいので、もし海外の学習者が真相を暴露し、国内の学習者を応援しなければ、皆さん考えてみてください、邪悪は更に憚ることなく悪事を働くのではありませんか。そうでしょう。ですから、学習者が法を実証する時に行なった全ては大いに邪悪を暴露し、邪悪を抑制したと同時に、中国大陸の学習者を応援しました。皆さんが行なった全ては、天安門に行くにしても、ほかの環境で人々に真相を伝えているにしても、海外で法を広げ、邪悪の本当の面目を暴露するにしても、皆偉大です。皆さんは一体を成しているからです。中国に行って、天安門に行った学習者もいますが、素晴らしいことです。師父はそれが素晴らしいと思います。しかし、師父は別の角度から考えて、海外の学習者はできるだけ中国大陸に行かないでほしいのです。邪悪を暴露するために、あなたの力が必要だからです。昔多くの学習者は「先生、どうして私たちはアメリカで法を得たのですか、どうして海外で法を得たのですか」と質問したりしました。実は今になって分かったでしょう。皆さんのようにここで今のようなことをする人がいなければ、法を正す過程の全ては不完全になるのではないのでしょうか。ここで自分のやるべきことをしっかりやるべきです。これは皆さんがなぜ海外で法を得たかの理由です。もし皆中国に行ってしまうと、法を正し、邪悪を暴露し、大陸学習者への迫害を緩和するなどのことは誰がやりますか。学習者の皆さんが素晴らしいのです。本当に素晴らしいです。皆さんはやるべきことを全力をあげてやりました。国内にいるにしても、海外にいるにしても、現れたことは皆同じです。皆表に出られるかどうかの問題、法を正すことへの気持ちの強さなどの問題です。同じような差異が存在していますが、ただ環境が違うだけです。一部の学習者は大きな苦を嘗め、命を失った人もいましたが、これらのことについて将来皆さんに話します。真相が現れた時、きつとなるほど、こういうことかと思います。先ほど私は言い

ましたが、全てのことに按排があるのです。

人々に真相を伝えることは皆さんが非常によくやりました。皆さんに教えますが、このことも偉大で慈悲なのです。ただ一枚のチラシを常人に渡し、一つの真相を常人に伝えたかのように見えますが、皆さんに教えますが、今度の出来事が終わったら、人類は次の時期に入ります。頭の中に「宇宙大法は良くない」と思う人や生命は最初に淘汰されるのです。このように思う人や生命は宇宙の最も悪い生命よりも悪いからです。その人が反対しているのは宇宙の法だからです。私たちが世人に真相を伝えている時、一部の人の大法に対する邪念を除去したので、少なくともこの点において彼を救ったのではありませんか。皆さんが真相を伝える過程で法を得た人もいますが、これで彼らの罪を取り除いただけではなく、彼を済度したのです。これは皆さんが更なる慈悲を施したことを物語っているのではありませんか。もっと良いことをしたと物語っているのではありませんか。皆さんは極めて厳しい状況で、邪悪が最も盛んになっているとき、まだ他人を済度しています。(拍手) これは政治に参加しているのではなく、常人のことに参加しているのでもありません。邪悪を暴露する時、常人のやり方を利用して間違いないではありません。行なった全ては個人の目的、何らかの常人の組織のためではなく、大法を実証するためです。邪悪を暴露したのは大法と学習者への迫害を停止させるためです。

実は一人の修煉者として、昔常人がどう思っているか全く構わなかったのです。自分がどう思われても、それは常人の考えであり、修煉者にとって全く気になりません。常人のことを構う人はいません。修めているのは己自身です。圓滿成就に達したらこの世を去っていきます。常人はどうなっても構いません。罪があれば、それを償い、だめになったら歴史に淘汰されればいいのです。昔はそうだったのです。今日の大法弟子に現れた慈悲は今までどの生命が修煉している時にもできなかったことです。一人の大法弟子として、偉大な慈悲なる者として、人類のどの環境においても最も素晴らしく、最も慈悲であり、生命にとって有益なのです。真相を伝える時、そうなるべきではありませんか。皆さんがこのようにしています。これは一人の大法修煉者の慈悲であり、常人の何らかの活動ではありません。

昔、私は宇宙人のことを話したことがあります。それを理解できない、下心のある記者はそれを利用して私を攻撃しています。記者が何を言っても私は気にかけることはありません。私はやるべきことをやります。将来、人間が分かって

くれるはずです。ここで皆さんに教えることができるのは皆さんが大法の弟子だからです。実は宇宙人が地球の本当の主です。どの時期でも、地球のこの位置にあのような生命がいたのです。皆さんも聞いたことがあると思いますが、『聖書』にエホバが自分の姿かたちに基づいて人間を造ったと言っています。黄色人種の人も女媧が人を造ったと聞いたことがあります。どうしてこのようにしたのでしょいか。歴史上かつてなかったことです。どうして人間を神の形象にしたのでしょうか。皆さんに教えますが、昔もし人間を神の形象にしたら、それは神に対する最大の侮辱であり、最もひどく神を誹謗していることでした。それでもどうして今期の間を神の姿かたちにしたのでしょいか。大法がこの歴史のある時期に伝えられるからです。その時の生命は大法を聞く資格がなければなりません。動物が大法を聞くことは絶対だめです。ですから、神は自分の姿かたちを模倣して今日の人類を造ったのです。(拍手) しかし、当初造ったのは皆さんではなく、今日の人類でもありません。ただこの表面の皮だけは元のままです。当時の人が人間なのです。ですからそれらの人は皆より小さい粒子から構成されている空間におり、つまり人間が言っているあの世にいます。言い換えれば、最大粒子より小さい粒子が構成している空間にいます。表面の皮は表面上まだ人間の皮ですが、実質上既に人間ではなくなりました。神が言っている人間の皮は今の人間が言っている皮膚のことではありません。神は最大の粒子が構成した内臓も含めた人間の全体を指しています。

昔の人間は地球上にますます少なくなっています。人間の皮は高次元の生命に占有された部分がますます多くなりました。この世に大法が伝えられているからです。高次元の生命にも分かっています。これが生命を救うことのできる機会であり、未来まで生き残る最大の保障です。しかし、このことは既成の生命たちにも按排されました。彼らはこの世に来た生命を、法を得る人と法に魔難をもたらす人に分けました。彼らは魔難を作った人でも将来圓滿成就させなければならぬと思っています。彼らが作る魔難がなければ、修煉の人も圓滿成就できないからと思っています。しかし私はこの理を認めません。宇宙の如何なる時期にも如何なる生命であっても人を済度するならこの理でいいのですが、法を正す時はだめです。(拍手) どうしてだめなのでしょう。皆さん考えてください、宇宙全体に及ぶ全ての生命の心性の位置を配置し直しているので、大法を迫害した邪悪の生命をどこに置いたらよいのでしょうか。圓滿成就した生命と同じように対処してもいいのでしょうか。偉大な神と肩を並べてもいいですか。絶対だめです。

このことは彼らが最初も信じていなかったのですが、今彼らははっきりと分か

りました。それでは一つの問題が現れてきました。どういう問題なのでしょう。人類の50%、つまり何十億の人がこれから法を得ます。しかし彼らはそれほど幸運ではありません。法を正す時期の大法弟子になれないのです。つまり、これからは人類の次の時期に法を勉強し、法を得るのです。その時期になると、法を得ることはたやすいことではありません。皆本を持っていますが、ちょっとした良くない考えがあれば法を得ることができません。これは次の期のことです。多くの生命、多くの人間も法を正す時の本当の状況が見えたのです。人間にもしっかりしている一面があるので、彼らは悪事をしたいわけではなく、彼らも正しい方式で法を得たいのです。このような人は多分20、30%ぐらいいます。つまり人類の70、80%の人が法を得るのです。正しい方式で法を得て、法を妨害する魔難を造らないのです。これは将来の人が法を得る時の状況です。ですから、法を得る人は非常に多いのです。私が今やっているこのことですが、もし新しく法を得た人であれば、その人は次の期において大法の中堅になるかもしれません。法を得て一人で修煉して、煉功場に来なくなり、何の連絡も来ない人がいますが、皆さんも気付いたと思います。多分彼らは種のように埋められているかもしれません。ほかの原因があるかもしれません。二通りの可能性があります。ですから、皆さんがやっていることは偉大で、素晴らしいことです。人類の状況はとても複雑であり、表面から短絡的に人を見るのではありません。全て法を正す期間に現れた邪悪もそれなりの始末を得るのです。これは確実なことです。全ての生命は位置を配置され直されているからです。大法を破壊する生命がどこに置かれるかは自明のことです。法を正している中の全てに対して絶対的に厳しく、正しく要求しなければなりません。これが今までなされた全てとの違いです。

具体的なことですが、去年「四・二五」以降起きたこと、「七・二十」に起きたことに対して、最初考えに揺れがあった学習者はいますが、これも正常なことです。あなたに常人の考えがあるからこそ、修煉できるのです。常人の考えがあるからこそ、揺れるのです。常人の考えがあるからこそ、揺れの中で自分が歩むべき正しい道を決めたのです。これが修煉なのです。ですからその時、「私が学んでいるこの法は正しいですか。李洪志はどのような人ですか。大法を誹謗中傷している邪悪勢力の言っていることは正しいですか」と多くの人は考えました。これらの問題は全ての学習者が考えていたのです。多かれ少なかれ考えたのです。これも皆さんに考えるチャンスを与えているのです。間違いではありません。冷静になってから皆さんは自分が歩むべき道を歩みました。人間の言葉で自分がどのように認識しているかを表現する必要はありません。あなたの行動は既に全てを証明したのです。大法の中に今日まで歩み至ることのできた人はあなたの行動が既に

あなたの選択した、一人の修煉者として歩むべき道を証明したのです。ここまで乗り越えてきた全ての弟子は皆偉大です。皆素晴らしいのです。(拍手)

この過程の中に、皆さんは様々な具体的な問題、多くの困難にぶつかりました。最初どうすればいいか分からなかったのですが、だんだん分かってきて、試行錯誤しながらどうすればいいか分かってきました。特にあの時期に私は何も言わなかったのです。私がもし何かを言ったら、試練として成り立たないからです。試練として成り立たなかったら、二つの問題が生じるのです。既成の勢力は全力を尽くして破壊し、大法は邪法と見なされてしまいます。それなら私がしている法を正すことに大きな支障をきたし、宇宙全体に大きな混乱をもたらします。それではだめです。もう一つ、当時天地に覆い被さるように邪悪は非常に強かったのです。明慧ネットに載せた写真から地球がサタンの顔のような形象をしているのを見ました。それは地球上の業力の現れに過ぎません。全ての業力の微粒子は異なる業力の形をしており、その全体の形象はつまり業力の形象です。しかし、当時の邪悪はこれらの業力を遥かに超えたのです。地球だけが邪悪に覆い被されたのではなく、多くの次元の生命にとっても非常に恐ろしいことでした。これほど大きな試練を受けなければ、それほど大きな法にならないと邪悪な勢力は思っています。しかし、これほど大きな難がやってきたら、人類が耐えられなければ消滅される羽目になるということは邪悪な勢力にも分かっています。彼らは私まで修煉している人と勘違いしました。これほど大きな法を実証するためにこれほど大きな試練でなければいけないと思っています。皆さん、言うのは簡単ですが、実は非常に恐ろしいことです。当時の環境は表しようがなく、極めて厳しかったのです。国内の学習者にしても国外の学習者にしても、当時このような感じがあり、邪悪勢力の世間に現れた邪悪の程度も見ていました。表面上ただ人間としての現れしか見えませんが、実質上邪悪の要素が人を操っています。それが始まってすぐの頃から、私は極力それを消滅していました。しかしあまりにも歴大だったので、いくら速く消滅しても、一つの過程が必要です。九カ月間をかけてやっと消滅したのです。これも今までになかったことです。非常に強かったのです。当時この邪悪があまりに強かったので、皆さんがそれに耐え切ることは不可能です。もしそれに耐えなければ、試練を受けることにならないのです。邪悪を消滅するばかりではだめで、それに耐えなければなりません。しかし、もし学習者がそれを受けてしまえば、乗り越えられなくなるのです。ですから、学習者に人間がしでかした邪悪を受けさせ、本質なものを私は受け持ったのです。(拍手) ここで師父が如何に偉いかを言っているわけではありません。この意味ではありません。私はただ皆さんにこの過程を言っているのです。消滅し終わってから、情

況が変わりました。今年の三月から、形勢は次第に変化が起きました。悪人は邪悪な要素の操りがなくなれば、精神的な支えもなくなります。現在彼らは大法への試練が既に合格したと思っています。このことも終わりつつあります。ただ一部の人はまだ表に出ていません。

もちろん、私が何も言わなかったことにほかの原因もあります。その一つは、私は私の弟子—未来に圓滿成就する偉大な神がこの魔難の中にいながらどう行動するかも見てみたいからです。もちろんほかの理由もあります。しかし、魔難の中に歩んだ一步一步は全て皆さん自力で歩んできたのです。私は何も言わなかったのです。全体的に非常に正しく行なうことができました。皆さんの考えに生じた念は全て百パーセント正しいとは言えませんが、皆さんが最後に行なった全て、現れた全ては偉大なのです。その時師父はいなかったからです。これを見て、我々に難をもたらした生命、既成の生命も感心し申し分がありません。やるべきこと、耐えるべきこと、皆正々堂々として素晴らしく乗り越えてきました。

もちろん、情勢は好転しつつありますが、邪悪がまだ根絶されておらず、まだ活動しています。ですから、油断してはいけません。更に力をいれて着実にやるべきことをし、圓滿成就の道を一步一步本当にしっかり歩んでください。今のことがただのたいしたことのない試練だとは思わないでください。実はこの上なく偉大なのです。皆さんは法を実証しているからです。皆さんは最も困難の時期にしたからです。一部のことは常人がやっていることのように見えますが、常人は私利のため、常人の目的のためにしていますが、皆さんは大法のためにしています。立脚点が違います。皆さんは修煉の人で、将来その偉大さが分かるはずですが、中に皆さんが今分かっている神聖さと今わかっていない神聖さがあります。常人の表現形式からはさほど偉大とは感じませんが、それは皆さんの自負心を引き起こしてはいけないからです。師父はただ皆さんに更に頑張り、一步一步しっかり歩むようにと言うしかありません。この一年来、真相を伝えている中、修煉している中、法を守っている中、様々な魔難があり、様々な問題に出くわしましたが、皆さんは自分の考え、自分が出した決定に基づいて歩んできました。師父がしたことは無駄にならなかったのです。皆さんに如何なることをしてあげてもそれだけの価値があるのです。(長時間の拍手) 本当に素晴らしいのです。

具体的なことについて、機会があれば時間を作って皆さんに話したいと思います。私は全ての法会に参加するとは限りません。出てくるのも毎回目的があるのです。勝手に皆さんに何かを言っているわけではありません。今のような状況の

下では特にそうです。将来時間を作って皆さんに詳しく話します。今日はここまでにしましょう。法を正すことと邪悪を暴露することを更によく行なうよう期待しています。これも修煉なのです。

このくらいでとどめます。ありがとうございました。(拍手)